

### 基本理念

どんなに重い障害があっても“何かが出来る”一人で出来なかったら、“みんなで助け合う”そして多くの方々との交流を大切にして、地域社会の中に生活の基盤を築いていきたい。



編集・発行  
社会福祉法人 緑の会 いずみ園  
〒277-0042  
千葉県柏市逆井341  
TEL: 04-7176-8085 (代)  
FAX: 04-7176-8087  
e-mail: front@izumien.jp

# ふれあふ、わくわくこども



理事長 関 博之

木々の緑の色あざやかな季節になりました。緑の会という当法人名がびつたりの季節でもあります。

いずみ園は、この四月新卒ピカピカの二人の利用者さんを迎えて新年度スタートしました。若い利用者さんのエネルギーが周囲に伝わる毎日です。

利用者さんのアイデアや職員の創意工夫等で新年度にふさわしい新しい取り組みも始まっています。人は誰でも新しい活動を始める時、不安がいつばいでどきどきするものです。また反面、新しい活動の中で、自分を再発見し、充実感を持つこともできます。新しい活動の成功を期待しわくわくもします。不安のどきどきを減らし、期待のわくわくを大きくすると、新しい活動にチャレンジする勇氣も湧いてきます。皆で新しいことにチャレンジしましょう。

さて、新しい活動ですが、まだ全面的に紹介できないのが残念ですが、いずみ園での利用者さんの生活を豊かにするものになるでしょう。毎月のいずみ園喫茶(カフェ)、誕生月の外出食会、試行中ですが、受注の軽作業にも一所懸命取り組んでいる姿が輝いています。



いずみ園喫茶。午後のブレイクタイムのひと時となっています。

←受注作業の様子。もくもくと頑張って取り組んでいます。



ウイズホームでも、利用者さんの集まり「ひまわり」が発足しました。自立した生活への第一歩になってほしいです。ショートステイの利用者さんも増えつつあります。生活全体を、豊かにし改善し、自立した生活に向け、一步一步着実に前進しましょう。

また社会福祉法人として、利用者さん、家族の皆さんともしっかり手を携え、地域の皆さんに信頼される公益法人としての努力もかかせません。

政治、行政の世界から「社会福祉法人改革」が提起され、法案が国会に上程されています。内容は、主に財務諸表の公開や、余剰金(内部留保)の地域貢献活動への活用等々です。法人として中長期を見直し、新しい事業計画を作成することが求められています。利用者さん、家族、地域の方々のニーズ把握に務め、早期に新事業の準備に取り組みます。法人改革にどきどきせず、わくわくと取り組むたいものです。

最後に全国の肢体不自由児者及び家族の要望を紹介します。  
「平成二十六年九月七日第四十七回全国肢体不自由児者父母の会連合会全国大会決議「前文少略・・・6. 医療的ケアが必要な障害者をはじめ、障害の種類、程度に関わらず、障害者自身が主体的に生活できるようグループホーム等の生活の場や、日中活動の場の積極的な設置を図ること。」



# 平成26年度事業報告・決算

平成27年5月27日の評議員会、28日の理事会を経て承認されました。事業については概ね計画どおりに進められ、収支の決算は次のとおりです。

平成27年3月31日現在

(単位：円)

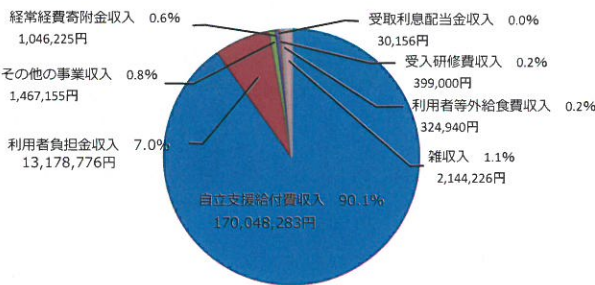
(単位：円)

貸借対照表	資産の部		負債の部	
	流動資産	157,226,295	流動負債	9,082,132
	固定資産	568,729,908	固定負債	20,980,000
	基本財産	451,036,814	負債の部合計	30,062,132
	建物・構築物	382,332	純資産の部	
	機械及び装置	27,575,100	基本金	32,985,178
	車輛・備品等	10,978,416	国庫補助金等特別積立金	300,750,238
	ソフトウェア	506,660	その他の積立金	78,222,356
	積立金等	78,222,356		
	その他の固定資産	28,230	次期繰越し活動収支差額	283,936,299
資産の部合計	725,956,203	純資産の部合計	695,894,071	
		負債及び純資産の部合計	725,956,203	

事業活動計算書	サービス活動増減の部	収入	187,884,665
		支出	150,694,186
	サービス活動外増減の部	収入	754,096
		支出	176,091
	経常増減差額		37,768,484
	特別増減の部	収入	0
		支出	299,936
	当期活動増減差額		37,468,548
	前期繰越活動増減差額		246,916,864
	当期末繰越活動増減差額		284,385,412
その他積立金取崩額		0	
その他積立金積立額		449,113	
次期繰越活動増減差額		283,936,299	

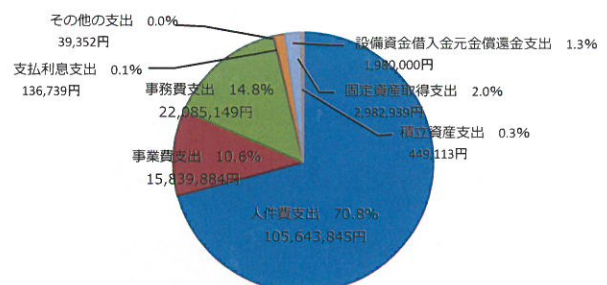
## 平成26年度資金収支決算の収入内訳

188,638,761円



## 平成26年度資金収支決算の支出内訳

149,157,021円



# 平成二十七年障害福祉サービス報酬改定及び

## 社会福祉法人制度改革について

毎年度末・年度始は、厚労省から示される「障害福祉サービスの報酬改定」についてやきもきする時期です。

今年度は高齢者の介護保険の報酬が引き下げられるのは新聞報道等で決まっていました。

が、障害分野はどうなのかその時点ではわかりませんでした。結果的には障害分野は引き下げではなく、安堵したのを覚えています(介護保険は2.27%の引き下げ)

その中でもポイント「処遇改善加算」の大幅な加算率のアップです。この加算は「職員の給与に必ず充てなさい」といったもので、加算全額が職員給与になります。

行政へも改善額の報告義務があります。どれだけアップするかというと、例年に比べるとほぼ倍額で、給与1月分程度となります。(ただし収入に比例します)福祉施設職員の給与が平均より低いことが一般的に言われていますが、そのことに対しての国の

対応策となっています。しかし法人としては確定した出て行くもの(支出)が多くなるので純益という点では単純には喜ばないこともあろうかと思えます。

その他に関しては、通所事業系の報酬単価は減、グループホーム・ショートステイなどの入所事業系は増となっております。地域重視となっております。また新しく看護師加算ができ、一定数の看護師配置があればその加算を請求できることとなり医療に対しては評価されています。それから食事提供加算、これは給食を作る人の人件費分を賄う加算ですが、減額となっています。

この加算は時限のもので今回再延長されましたが、三年後はどうなるかわかりません。

以上から全体的な感じはというと、収支は例年よりも若干厳しいという印象です。

社会福祉法人制度改革が、マスコミの記事

(非営利団体だが多額の内部留保を抱えている、また課税をすべき等)を発端として一年半程前から叫ばれてきました。

そこで社会保障審議会福祉部会の報告書によると、これからの社会福祉法人は、経営組織のあり方の見直し(内部統制機能の強化)、運営の透明性の確保、適正かつ公正な支出(適正な役員報酬等)、地域における公益的な取り組みの責務、内部留保の明確化と福祉サービスへの再投資、財務規律のガバナンス等多岐に渡っています。

これを踏まえ、当法人でも、経営目標や将来計画を策定し、より具体的な方向性を示す努力をしています。また広報につきましてもホームページの充実やソーシャルネットワーキングを活用し、より法人の活動を地域に周知・ご理解を促していただくように努めてまいります。



いずみ園サポートの会 様  
 いずみ園ボランティアの会 様  
 いずみ園保護者会 様  
 大石歯科 様  
 柏市医師会 様  
 柏老連柏南部支部 様  
 柏市老連藤心支部 様  
 柏ビル管理 様  
 逆井町会 様  
 東武なかはらシニアクラブ 様  
 野沢町会 様  
 柏陵高校保護者会 様  
 ハージュ 様  
 株式会社花園サービス 様  
 日立金属株式会社 様  
 無心庵 様  
 名糖牛乳 様 他  
 (五十音順)

※行事等で頂戴した  
 ご祝儀も含まれています。



↑クッションマットなので  
 利用者が車いすから降りても、安全に過ごせるスペース  
 ができました。

# 平成26年度 "感謝"

ご寄附・ご助成を

いただきました皆様です。

↓ミシンを2台いただきました。



いずみ園ボランティア 様

会津 徳子 様  
 桜井 和子 様  
 小島 琢夫 様  
 鈴木 悦子 様  
 橋 洋子 様  
 細谷 久子 様  
 松丸 和子 様  
 真橋 恵子 様  
 吉野 輝子 様  
 六川カホル 様

(五十音順)



↑布施新ホーム長のあいさつです。

↓利用者、保護者の笑顔が一番です!



## 増尾台ウィズホーム おかげさまで2周年

5月16日(土)に2周年を記念し、地域の皆さん、設計事務所の皆さん、利用者・保護者、職員で食事会を行いました。  
 近況報告や今後のことが懇談できた良い機会となりました。



↑ホームベランダを開放し、良い景色の中、食事をしながら談笑されています。



←前半は軽快なトークと最近の流行曲や懐メロで盛り上がりました。

## "笑顔"と"元気"を届ける 書道シンガー

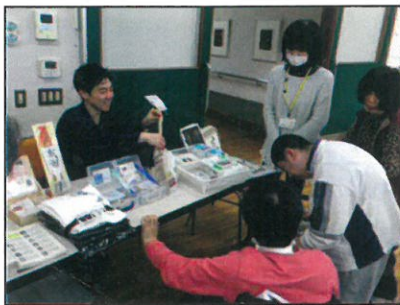


# 友近890ライブ

(ともちかやっくん)

4月21日(火)友近 890(本名: 友近泰道、36)が当園を訪れ、「笑顔をお届け施設ライブ」を行っていただきました。

前半はギターを片手に雪アナなど今流行りの音学から懐メロを、途中にはジャンケンゲームで勝者には書道サイン入りの扇子をいただきました。後半は作務衣に着替え、歌を歌いながらの書道パフォーマンスで観客から大きな拍手があり、これまでにない熱気に包まれた1時間でした。



↑いずみ園史上最多の売り上げを記録!



↑自ら作詞作曲の歌を歌いながら、「夢」という字を書いて披露する友近さん。



# 新利用者紹介



田中 桃子 さん

(たなか ももこ)

柏市柏在住

松戸特別支援学校高等部 平成27年3月卒業



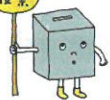
鮎川 勇也 さん

柏市藤心在住 (すげがわ ゆうや)

松戸特別支援学校高等部 平成27年3月卒業



よい投票



## 仲間の会役員選挙

平成27年3月19日(木)、いずみ園利用者の自治会である「仲間の会役員選挙」が行われました。毎年ですが立候補や他薦があり、票が読み上げられる度に喜びの声や、悔しい声などが聞かれ大いに盛り上がります。

いずみ園利用者の代表として頑張ってください！

平川里美さん。  
「いずみ園を楽しみます！」

副会長



会長



成田美和子さん。  
「ごあいさつをがんばります！」

副会長



## 平成27年度 仲間の会新役員

会計



鷺田良子さん。  
「会計の仕事をがんばります！」

書記



府川亮介さん。  
「がんばります！」

前園弥生さん。  
「会長を支えます！」



みなさんはフェイスブックなるものをやられていますか？

今年度5月22日からいずみ園もフェイスブックを活用し、当法人事業の活動報告、ご案内、募集、お願い、福祉等の情報発信をしています。

「いいね！」をクリックまたはスマホでタッチをしていただけるように、更新に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします m(\_)\_m



## ボランティア募集

いずみ園では、利用者と共に作業、外出、移動、食事介助して下さる方のご協力をお待ちしています！！

住所：〒277-0042 柏市逆井341番地

電話：04-7176-8085 (代)

Email：izumien@technowave.ne.jp

時間：9時30分～15時



編集後記

現代のコミュニケーションツールとしてSNSと言われるメール、ライン、フェイスブックなどが生活の中に入り込んできています。▼つまり会わなくても物事を進める事ができるようになりました。▼それはそれで意義あることで、合理的になり、便利になります。▼でも会って話すことほど、価値を生むことはありませぬ。表情、声のトーン、姿勢など多くの情報がそこにはあります。▼出会はアナログですが、素晴らしいものです。▼いずみ園にはその出会いがあるのかなあと思います。(三井)